2024年度 大阪公立大学数学研究所

共同利用・共同研究計画提案書

この計画提案書はWordまたはLaTeXで作成し、Wordの場合はWordファイル、LaTeXの場合はTeXファイルとPDFファイルの両方を提出してください。

最後のページまで漏れなく記入してください。適宜、欄を広げたり、ページを追加したりしても構いません。

**1. 研究組織**

**1-1. 研究提案者の情報**

氏名：

所属：

職名：

所属住所：

電話番号：

メールアドレス：

**1-2. 研究代表者の情報**（研究提案者と同一でも可）

氏名：

所属：

職名：

**1-3. 事前相談を行った阪公大研究者名**

別紙「阪公大研究者リスト」から1名以上を選んで氏名を記入してください。

阪公大研究者名：

**1-4. 研究担当者の情報**

研究提案者・研究代表者・上記の阪公大研究者**以外**で、研究組織に加わる方（研究集会の世話人など）の氏名・所属・職名（下記の職名記号）を記載してください。該当者がいない場合は「該当者なし」と記載してください。

研究担当者

見本 太郎（大阪公立大学）P

見本 次郎（大阪公立大学）AP

（例は削除してください。）

【職名記号】

PE：名誉教授 P：教授 AP：准教授 L：講師

A：助教・助手 R：研究員 D：博士学生 M：修士学生

O：その他

**2. 研究課題の概要**

**2-1. 研究課題名**

研究課題名はExcel等で処理するため、数式は使わないでください。英文と和文が同じ場合、和文は省略して構いません。

研究課題名（英文・必須）：

研究課題名（和文・任意）：

**2-2. 募集種別**

下記の募集種別リストから1つを選んで記号を記載してください。

募集種別：

【募集種別リスト】

(A) 共同利用・共同研究(一般)(A) (B) 共同利用・共同研究(一般)(B)

(C) 共同利用・共同研究(一般)(C) (W) 国際共同研究

(L) 大規模国際会議

(W)を選択した場合は、別紙「海外連携研究機関リスト」から研究機関を1つ以上選んで以下に記入してください。

海外連携研究機関名（(W)のみ）：

**2-3. 研究分野**

研究課題に関係する研究分野を、下記の研究分野リストから3つまで選んで記号を記載してください。

研究分野：

【研究分野リスト】

(a) 代数学 (b) 幾何学 (c) 解析学 (d) 応用数学

(e) 数理物理 (f) 宇宙物理 (g) 数学・理論物理の融合分野

(h) 数学教育 (i) その他（具体的に記入してください）

**2-4. 援助希望額**（単位：円）

金銭的な援助を希望せず、会場や遠隔機器の貸与のみを希望する場合は0と記載してください。

援助希望額：

**2-5. OCAMI Reports（講演アブストラクト集等）の発行予定**

講演アブストラクトを集約した報告集等をOCAMI Reportsとして発行することを推奨しています。発行予定を有、未定、無のいずれかで記載してください。

OCAMI Reportsの発行予定：

**3. 研究課題を遂行するための研究集会等の計画**

開催予定の研究集会等の情報を記載してください。複数の研究集会等を予定している場合は、必要なら下記テンプレートを複製して、それぞれの集会等について記入してください。

**3-1. 研究集会等の名称**（名称がない、または未定の場合はその旨を記載）

研究集会等の名称：

**3-2. 実施予定期間**（未定の場合は開催予定日数「…日間」を記載）

実施予定期間：

**3-3. 実施希望会場**

実施希望会場：

【会場リスト】

杉本キャンパス 中百舌鳥キャンパス 梅田サテライト

I-siteなんば その他（具体的に記入してください）

**3-4. 参加予定者**（オンライン参加を含む）

参加予定人数（見込み）：

参加が見込まれる主な研究者の氏名・所属・職名（下記の職名記号）を以下に記載してください。人数が多い場合は10名程度を記載してください。参加を確約している必要はありません。

主な参加予定者

見本 太郎（大阪公立大学）P

見本 次郎（大阪公立大学）AP

（例は削除してください。）

【職名記号】

PE：名誉教授 P：教授 AP：准教授 L：講師

A：助教・助手 R：研究員 D：博士学生 M：修士学生

O：その他

**4. 研究計画**

以下の項目を計1〜2ページで記載してください。

**4-1. 研究課題の目的**

（「国際的なレベルの研究が期待できる」、「数学・理論物理の協働・共創を促す」、「若手研究者育成」、「女性研究者参加」等の点を踏まえた記述であることが望ましい。）

**4-2. 具体的な研究計画**

（実施可能かつ確実に研究成果が期待できる研究計画であることが望ましい。）

**4-3. 研究組織の構成員および参加予定者の主要な関連研究業績**